

ありのままをお伝えする季刊誌

2007

SUZUCHU VOL.11

NO秋W

- 発行日 2007年10月1日
- 発行 鈴鹿中央総合病院
- 編集 鈴鹿中央総合病院広報委員会
〒513-8630 鈴鹿市安塚町山之花1275-53
TEL 059-382-1311
URL http://www.miekosei.or.jp/2_sch/
- 編集協力 TCK名古屋

【道】

…その先にあるもの
人として成長するもの
「道」

■Salon de news

救急フェア開催

■からだの春夏秋冬

救急医療の現状について

■院内【知っ得!辞典】

SGH教育研修委員会

■誌面でクッキング

きのこ料理3品



Coffee Break

「二次救急ピンタ!!」
「救急センターへ電話してくださいね。」
「お母さん、早くかかりつけ医ね。」
「たまたま、ママさん...」
「熱いよ...」
「だるいから明日〇〇総合病院に行きたいよ...」
「何だ、熱もないうつろい...」
「軽症かかりますよ。」
「〇〇病院で診てもらってね。」
「私もたまたま、救急センターで診てもらった!!」
「軽症だし、かかりつけ医に診てもらえ!!」



SALON DE NEWS

鈴木ニュース

救急フェア開催

9月7日(金)に当院正面玄関の中央ホールにおいて、救急フェアを開催いたしました。

当日は、AED(自動体外式除細動器)救急蘇生法について、会場に設置された大型スクリーンを使って実践面が放映され、わかりやすい説明がなされることも、参加者の皆さんに実技の指導が行われました。参加された皆さんもAEDの使用を体験され、救急救命に対する関心の高さがうかがわれました。

からだの夏秋冬

「救急医療の現状」

鈴鹿市における二次救急医療は、当院と鈴鹿回生病院の2病院が輪番体制を定めて実施しています。両病院の当番は1か月のうち、3分の2の日数を当院が、3分の1の日数を鈴鹿回生病院が受けています。

両病院では、入院や手術を要するような症例に対する二次救急応需体制を敷いていますが、現状は軽傷の患者さまの受診も極めて多く、当番日においては、特に時間外、深夜及び休日における救急医療が大変混雑する状況になっています。

当院における救急の受入れの現状については、平成18年の当院の当番日における一日平均患者数は54人で、その内、救急車搬入患者数が16.8人、また当該救急車搬入患者さまの内、入院治療を要すること

なった患者さまの割合は、36.7%となっており、入院や手術を伴わない医療である一次救急の対象患者さまが救急受診者の多くを占めている、という状態となっています。

医師、看護師の確保問題が深刻化する状況の中で、救急体制維持のために医師、看護師、薬剤師、放射線技師、検査技師及び事務員が毎日、宿直に当たっていますが、翌日休暇のとれない職種である医師の疲労や救急の維持するための病院の経済的負担の大きさなどから、救急医療の継続が難しくなりつつあり、救急医療の将来は決して楽観できるものではないといえます。

こうした厳しい状況の中で、当院は鈴鹿市における市民病院の機能を発揮しつつ、地域の皆

「注」鈴鹿市における二次救急医療は、当院と鈴鹿回生病院が担っています。1か月の内、2日、4日、6日、12日、14日、16日、22日、24日、26日、30日の10日間を鈴鹿回生病院が、残りの20日間を当院が受けても当番にあたり、二次救急応需体制を敷いています。

救急医療情報センター 059-382-1199

協力 鈴鹿市保健福祉部健康づくり課



3回目の機能評価受審で得た新たな力。そしてこれまでの道のりと新しい発見とは...今号では経営戦略の立案と具現化を担当する事務部のトップである渡邊部長に話を聞いた。



事務部長 渡邊 裕



...その先にあるもの

道として成長するようになりなさい

機能評価とは「自院の現状が適切か否か、判断できるもの」としてある。

鈴鹿中央総合病院はこの9月、財団法人日本医療機能評価機構による第3回目の病院機能評価を受審した。病院機能評価とは、我が国の医療機関の機能または、医療の質の向上を図るために、第三者機関が中立的な立場で医療機関を評価するもので、平成19年7月23日現在で発表されている認定証病院数は、2,386病院となっている。この機能評価によって得た新たな力、新しい発見とは一体どんなことなのか。「機能評価が認定ありきの取得になってはいけな」と考えます。結果的に受けたいと思っております。

職員の団結力が語るもの

鈴鹿中央総合病院の職員は、組織としてのまとまりがとてよい。前述の機能評価で平成9年に全国7番目の認定を取得。さらに新医師臨床



研修評価に関する研究会(※1)において平成19年6月27日付で全国で17番目の受審証の発行を受けることができた。「健診センターオリブ」でも日本人間ドック学会が実施する「人間ドック・健診施設機能評価(※2)」を受診し、平成18年2月に認定されたことなど。どれもハードルが高いといわれているにもかかわらず、それぞれが県下でも先駆けで取得している。これには何か秘訣があるのか。渡邊部長に聞いた。「当院の職員はまとまりが良く、自負しております。目標に向かって一致団結する力はどこにも負けないと思います。こうした方は、様々な面で生きています。現在、当院の建物は新築から14年経過しました。建造物の寿命は35年といわれています。折り返し地点にさしかかり、ハードの部分で患者さまのニーズにそぐわない部分も出てきています。なかには物理的に改善することが困難なケースもありますので運営でカバーしていかなければなりません。そのためには全職員の行動力が必要となります。今までのようなケースを幾度となく改善できたことは、患者さまや地域の方の協力と、職員の目標へ向かう団結力にあると思います。私たち

こちら 解説室

※1 新医師臨床研修評価に関する研究会

臨床研修プログラムを中心とした臨床研修評価(第三者による)に関する研究の推進、及び訪問調査事業を行い、医療の発展に寄与するとともに、臨床研修病院群の質の向上を図ることを目的とする。将来的には、協議会と発展させ、更には財政基盤を確立しつつ「第三者評価機関」の設立を目指す。

※2 人間ドック・健診施設機能評価

書面での自己評価と第三者訪問による評価の2段階で行われ、評価の結果を「人間ドック・健診施設機能評価委員会」が最終的に判断し、認定。

が提供する医療サービスは、すべて「人」が行います。絶えず質の高い医療サービスを追求し続けるための努力は当然のことですが、「人」としての成長に自己研鑽を惜しむことなく歩み続けることも大切です。当職員が持つ団結力は、そうした「人」としての努力から生まれているのだと思います。当院の理念「良質で高度な医療を提供することにより、地域の皆様に信頼され、選ばれる病院でありたい」を胸に今後も全職員が患者さまに満足いく医療サービスを提供し続けるよう邁進していきます。」

取材・撮影 TCK名古屋

SUZUCHU 外来診療担当表

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
内科	1診 新患	濱田正行(循)	山本伸仁(呼)	世古哲哉(循)	森 拓也(循)	北村哲也(循)
	2診 新患	向 克己(消)	川上惠基(血)	高木幹郎(腎)	三谷英嗣(血)	岡野 宏(消・肝)
	3診	西村 晃(肝)	西村 晃(肝)	西村 晃(肝)	山本伸仁(呼)	西村 晃(肝)
	4診	岡野 宏(消・肝)	三谷英嗣(血)	加藤崇明(循)	市川和秀(循)	
	5診	山本伸仁(呼)	向 克己(消)	川上惠基(血・腫)	濱田正行(循)	高木幹郎(腎)
	7診	森 拓也(循)	佐瀬友博(消)	市川和秀(循)	齊藤知規(消)	森 拓也(循)
	8診	北村哲也(循)		向 克己(消)	川上惠基(血・腫)	高橋佳紀(循)
	9診	加藤崇明(循) (新患)	藤本 源(呼)(大学医) 午後のみ診察	齊藤知規(消) (新患)	世古哲哉(循)	小林裕康(呼)(大学医)
	10診	北野滋久(腫)(大学医)				
	眼科	1診	有馬美香	有馬美香	大学医	有馬美香
2診		坂倉美佐	坂倉美佐		坂倉美佐	坂倉美佐
	午後	手術	予約検査	予約検査	手術	予約検査
小児科	1診	細木興亜	西 英明	西 英明	西 英明	岩尾 篤
	2診	小川昌宏	細木興亜	岩尾 篤	小川昌宏	小川昌宏
		検査 (予約制)	予防接種 (予約制)	乳児健診 1~4M	(予防接種) (予約制)	乳児健診 7M~
耳鼻咽喉科	1診 予約再来	角田貴継	新患のみ	藤田祐一	藤田祐一	角田貴継
	2診	藤田祐一	(予約なし)	大学医	角田貴継	藤田祐一
	午後		手術	手術	午後予約検査	手術
呼吸器外科	1診	手術	水野幸太郎	深井一郎	手術	
	2診			遠藤克彦	深井一郎	
心臓血管外科						駒田拓也(大学医)
外科	1診	金兒博司	田岡大樹(予約)			今井俊積(予約)
	2診 新患	今井俊積	今井俊積	金兒博司	金兒博司	田岡大樹
	3診	処置医	佐藤梨枝	処置医	佐藤梨枝	処置医
整形外科	1診	新美 壘	濱口貴彦	佐藤憲史	佐藤憲史	濱口貴彦第2,4新患
	2診	山田浩之	山田浩之	福田 均	福田 均	福田 均
	3診 新患	佐藤憲史	新美 壘	濱口貴彦	山田浩之	新美 壘第2,4再診
		午後手術	午後ギプス	手術	手術	検査
脳神経外科	1診	川口健司	初診紹介のみ	森川篤憲	初診紹介のみ	田代晴彦
	2診		手術	長谷川浩一	手術	長谷川浩一
	午後	(脳ドック) 森川篤憲		(脳ドック) 森川篤憲		(脳ドック) 森川篤憲
	午前・午後			アンギオ・検査		アンギオ・検査
神経内科	1診					新堂晃大(大学医)
皮膚科	1診	北川敬之(大学医)	休診	川端栄理子(大学医)	伊藤英明子(大学医)	川端栄理子(大学医)
産婦人科	1診(一般初診)	早川滋彦	矢納研二	丹羽正幸	早川滋彦	矢納研二
	2診(妊婦12w以降) 完全予約診	丹羽正幸	早川滋彦	矢納研二	丹羽正幸	早川滋彦
泌尿器科	1診(新患)	荒木富雄	荒木富雄	担当医	金井優博	鈴木竜一
	2診(予約再来)	金井優博	鈴木竜一		鈴木竜一	荒木富雄
麻酔科	1診	橋本 宇	橋本 宇		橋本 宇	橋本 宇
放射線診療	1診	伊井憲子(大学医) 午後		伊井憲子(大学医) 午前		
健診センター	1診	金丸・川原田	西村・川原田	金丸・川原田	西村・川原田	1・3金丸・西村 2・4金丸・川原田

(19年10月1日現在)

特殊外来

眼科	レーザー治療	火・水・金曜日 午後 要予約
	斜視・弱視外来	火・水・金曜日 午後 要予約

小児科

乳児健診	水・金曜日 午後
予防接種	火曜日 午後
ポリオ	第2・4木曜日 午後
慢性疾患外来	水曜日 午後

耳鼻咽喉科

補聴器外来	第2・4水曜日
予約検査	木曜日 午後 14:00~16:00

外科

木曜日初診は他院紹介のみ	
ストーマ外来	水・木曜日 14:00~(予約制)
乳腺外来	月曜日 14:30~(予約制)

整形外科

リウマチ科	水・金曜日
肩関節外来	第1・3金曜日 14:00~16:00(予約制)

産婦人科

妊婦健診	月~金曜日 要予約
母乳外来	火・木・金曜日 午後 要予約
助産師外来	月~金曜日 要予約

麻酔科

ペインクリニック	月・火・木・金曜日
----------	-----------

放射線診療

CT・MRI・Ri放射線治療・MMG	要予約
--------------------	-----

健診センター「オリーブ」

人間ドック・脳ドック・肺がんドック	
月・火・水・木・金曜日(予約制)	
*健診センターにて受付致します。	

裏面の
外来のご案内を
ご覧ください

ご近所のお医者さま

当院の登録医院を毎回5機関ずつ
紹介しております。

服部医院



往診可

医師名
服部 博司

◆診療科

- 外科●内科●胃腸科
- リハビリテーション科

◆特色

- 日本外科学会認定医
- 一般、消化器外科、胃内視鏡専攻
- 労災指定

●休診日

木曜午後・日曜・祝日

●診療時間

9:00~12:00 16:00~19:00

●所在地

〒510-0226 鈴鹿市岸岡町3385-1

●電話 059-388-1682

fax 059-388-3853

おかべ泌尿器科・皮膚科



往診可

医師名
岡部 正次

◆診療科

- 泌尿器科●皮膚科

◆特色

●休診日

水曜・日曜・祝日

●診療時間

8:30~12:30 15:30~18:30

●所在地

〒510-0235 鈴鹿市南江島町10-27

●電話 059-386-7886

fax 059-386-0067

朝日皮膚科



往診可

医師名
朝日 圓
朝日 国比古

◆診療科

- 皮膚科

◆特色

H16・5月より二人診療でやっています。

●休診日

木曜午後・土曜午後・日曜・祝日

●診療時間

8:30~12:00 15:30~18:30

●所在地

〒510-0242 鈴鹿市白子本町11-33

●電話 059-387-5312

fax 059-387-5315

坂倉ペインクリニック



往診可

火・木
14:00~15:30

医師名
坂倉 幸子

◆診療科

- 麻酔科●内科

◆特色

痛みを主訴とする病気を全般を対象としています。治療は神経ブロックを主とし、漢方・鍼灸を取り入れています。

●休診日

金曜午前・土曜午後・水曜・日曜・祝日

●診療時間

9:00~12:00 16:00~18:30

●所在地

〒510-0242 鈴鹿市白子本町9-28

●電話 059-386-0007

fax 059-386-4254

ひろせ胃腸科外科



往診可

医師名
廣瀬 徳蔵

◆診療科

- 胃腸科●外科

◆特色

患者さんのために一生懸命努力します。

●休診日

日曜・祝日

●診療時間

8:30~12:00 14:00~18:00

火・木・土曜日午後は14:00~16:00

●所在地

〒513-0802 鈴鹿市飯野寺家町235-4

●電話 059-383-3993

fax 059-383-7738

地域連携NOW!!



INFORMATION



鈴鹿中央総合病院 / 2階講義室にて

研修会を行いました。

本研修会は、地域の医療従事者が新しい医療のあり方や見識を高めるため、毎月定期的に勉強会を行い地域医療技術向上を目的としています。

研修会報告 (6~8月)

日時 平成19年6月28日 (木曜日)

演題 「糖尿病の治療
～循環器疾患合併症も含めて～」

演者：東京女子医科大学
糖尿病センター / 佐藤 麻子先生

参加者55名 (院外参加者16名)

日時 平成19年8月23日 (木曜日)

演題 「しなやかな糖尿病治療」
～インスリン編

演者：山田赤十字病院
内科副部長 / 村田 和也先生

参加者47名 (院外参加者11名)

講演
研修風景



佐藤 麻子先生



研修風景



村田 和也先生

BCT

日時 平成19年7月4日 (水曜日)

演題 「腹部外傷」
演者：外科 / 飯田 俊雄医師

日時 平成19年7月18日 (水曜日)

演題 「急性腹症の初期対応」
演者：外科 / 金児 博司医師

日時 平成19年8月1日 (水曜日)

演題 「吐血と下血」
演者：内科 / 斉藤 知規医師

日時 平成19年8月15日 (水曜日)

演題 「不整脈」
演者：内科 / 世古 哲哉医師

日時 平成19年8月29日 (水曜日)

演題 「気胸と胸部外傷」
演者：呼吸器外科 / 水野 幸太郎医師



SUZUCHU

リウマチHOT LINE — 教育・リハビリテーション

リハビリテーション科
小林 真人

シリーズでお伝えして参りましたリウマチホットライン。最終章は教育とリハビリテーション (以下リハビリ) についてお話しします。

チーム医療で患者さまをサポートしています。

当院では、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士・作業療法士等、多職種からなるチームで患者さまをサポートしています。このようなチーム医療において患者さまが、その中核であることは言うまでもありません。入院してパーフェクトな手術を受けられても在宅療養中に禁忌動作を行ってしまったり、外来で最先端のお薬を処方されても正しく服用しなければ、これらの治療は、台無しになってしまいます。そこで、ご活用いただきたいのが、チーム医療のメンバーです。メンバーは、それぞれの分野において専門家であり、専門領域に関するご質問に関しては的確にお答えすることが出来ます。尚、メンバーはカンファレンス等により常に主治医や他職種とも情報交換を行っておりますので、メンバーを通じて主治医に質問することも可能です。

リハビリを行う上での注意点

リウマチは進行性の病気であり、近年、免疫抑制剤や生物学的製剤等の薬物療法でリウマチ自体のコントロールが可能になってまいりましたが、完全に治癒するまでには至っておりません。関節拘縮・筋力低下・変形等により障害が進行するリウマチに対してリハビリは重要であり、継続的な自主トレや日常生活上の注意と工夫は、関節拘縮や筋力低下を予防し、変形等の進行を遅らす効果があります。自主トレのメニューは、お手持ちのリウマチ体操のパンフレットで構わないのですが、なかには頸部の運動 (医師の処方に基づく等尺性収縮等を除く) が記載されている場合があります。誤った頸部の運動は重篤な症状を招く恐れがありますので、ご注意ください。また、強い鎮痛剤等を使用している過度な運動も避けてください。なぜなら、痛みという防御センサーを完全に取り除い

てしまうと関節の破壊を進めてしまう危険性があるからです。(炎症が強い時は安静を待ちましょう。) 上肢については出来るだけ大きい関節を使用することにより小さい関節への負担を軽減したり、装具や自助具を使用していたり、下肢については大腿四頭筋や足底のアーチを保つ筋群を増強していただくことをお勧めします。大切なことは、このようなリハビリを出来るだけ早期から始めることにより、患者さまの生活環境に応じた快適な日常生活と高いQOL (生活の質) を長期にわたり維持していただくことです。



各種サービスをご活用ください

母親教室

- 前期 (妊娠4~5ヶ月) ●毎月1回 / 10月15日・11月19日・12月10日
- 後期 (妊娠8ヶ月の終わり) ●毎月1回 / 10月22日・11月26日・12月17日
- 場所：どちらも2階講義室 午後1時より3時まで

乳房マッサージについても受け付けております。
※詳しくは産婦人科外来
TEL 059-384-1024まで

外来のご案内

◆診療受付時間 / 午前8:30~11:30

※再来受付機のご利用は
午前7:30~11:30まで

◆休診日 / 土曜・日曜・祝日

年末年始 (12月30日~1月3日)
※救急の場合は休診日や診療時間帯に関わらず対応いたします。

◆診療申込み

初診の方および、受診する科が初めての方は診療申込用紙に必要事項をご記入の上、必ず保険証とあわせて新患受付にお出ください。

◆患者さまへのご案内

- 診察券はご来院の際、必ずお持ちください。各科共通で永久使用しています。
- 毎月1回、保険証の確認を行っております。2ヶ月以上、確認が取れない場合は再来受付機での受付ができません。

保険証に変更がある場合は必ず受付までお申し出ください。

- 受診の際、お車でお越しの方は駐車整理券を会計後お出しいただき、駐車料金無料の磁気処理をお受けください。

◆紹介状をお持ちの方

●紹介患者さま専用受付を設置しております。紹介状をお持ちの場合は紹介受付へお越しください。係の者がご案内させていただきます。

◆特定療養費について

●初診で紹介状をお持ちでない場合は、初診時特定療養費1,575円をいただきます。紹介状をお持ちいただければ初診時特定療養費の1,575円は不要となります。

病院の理念

良質で高度な医療を提供することにより、地域の皆様に信頼され、選ばれる病院でありたい。

病院の目標

- 1.患者さまの尊厳重視と、公正な医療の提供
- 2.最新で高度な医療の提供
- 3.医師の説明と、患者さまの選択に基づく医療の提供
- 4.情報の開示と、セカンドオピニオンの推進
- 5.地域医療ネットワークの推進

地域医療支援病院 三重厚生連

鈴鹿中央総合病院

TEL (059) 382-1311

院内 知っ得! 辞典

SGH教育研修委員長

診療部長 村田 哲也



SGH教育研修委員会が発足しました。

本年6月より当院にSGH教育研修委員会が正式発足しました。従来までも病院全体や部署単位などで多くの研修会や勉強会が開催されてきましたが、本委員会はこれらの研修会・勉強会を一括して管轄する委員会となります。今後、病院全体の研修会は基本的に

SGH教育研修委員会

SGH (Szuka General Hospital) 教育研修委員会では、院内で行われているすべての研修会や勉強会を把握し、当院における研修実績を残しデータベース化していく基幹。

本委員会が主催する形になります。特に、新人オリエンテーションは本委員会が行う大きな行事となる予定です。

これまでに行っていた部署単位の研修会や勉強会については、そのまま継続していきますが、その実施状況や内容などは逐次当委員会が報告を受けることとなります。

このようにして、院内で行われているすべての研修会や勉強会を二元的に把握し、委員会として教育研修に関する全体のデータベースを作成・管理していきます。そして、集積したデータをもとに病院雑誌に報告をするともに、当院における研修実績を残し、良質で高度な医療を提供する当院の使命を全うし得る人材の育成を図ってまいります。

ご意見にお答えします!

Q 身障者用駐車場には、本当に体の不自由な方だけを止められるようにしてほしい。元気に歩いておられる方が、身障者用駐車場に停めるのはおかしいと思います。

A 身障者用駐車場は、お体の不自由な方や実際に介助の必要な患者さまのために設けさせていただいております。患者さま、利用者の皆さま方のご理解、ご協力をお願い致します。

こんなに意見も寄せられました。入院させてもらいまして大変お世話になりました。心から御礼申し上げます。至れり尽くせりの看護に大変感謝致します。とてもリラックスできました。ありがとうございました。今回の入院は出産以外では初めてでしたが、看護のお仕事に携わる人々の大変さを改めて認識致しました。お体「自愛」下さいませ。

A お褒めの言葉をいただき、ありがとうございます。今後も患者さまが満足していただけるように、より一層努力して参ります。

誌面でクッキング

きのこの料理3品
食欲の秋到来。ローカロリーの秋の味覚「きのこ」を使ったレシピを紹介いたします。



※スペースの関係で誌面での紹介レシピは一品になります。

なめこと春菊の和え物 (材料1人分)

【1人あたりエネルギー22kcal、塩分 0.6g】

生なめこ ----- 1/4袋 ゆずの皮 ----- 少々
春菊 ----- 100g だし汁 ----- 25cc
醤油 ----- 3cc

< 作り方 >

1. 生なめこは洗わずに沸騰湯に入れ、3~4分煮て、水に放し水気を切る。
2. 春菊は葉だけむしり、茹でて水気を絞る。
3. ゆずの皮はごく細かく刻んでおく。
4. なめこと春菊、ゆずの皮を混ぜ、出し汁に醤油を加えたもので和える。



管理栄養士 田島 睦美 (たしまつみ)

きのこのにゅうめん (材料1人分)

【1人あたりエネルギー275kcal、塩分 4.5g】

そうめん (乾) ----- 60g ほうれん草 ----- 30g
まいたけ ----- 50g ささみ ----- 20g
しめじ ----- 50g だし汁 ----- 150cc
醤油 ----- 大さじ1
みりん ----- 大さじ1/2

< 作り方 >

1. そうめんはたっぷりの湯で茹でる
2. まいたけ、しめじは根元を切り、小房にわける。
3. 鍋に調味料を入れ、そぎ切りしたささみ、きのこ類を入れて煮る。煮えたら一度取り出しそこによく洗ったそうめんを加え、温める。
4. 器に盛り、具をのせる。ゆでたほうれん草を添える。

TOP画面→患者さま→NEWS&TOPICSの体にやさしいレシピでもう1品をご覧ください。http://www.miekosei.or.jp/2_sch/